



広島市女性団体連絡会議

広報紙

第24号

2007.12.31

ひろしま WENET は、女性団体・グループ及び個人が連携し、全市的・横断的にその力を集結して女性問題の解決に向け行動することにより、団体の構成員及び個人のより一層の資質の向上と団体活動の進展を図るとともに、広島市が目指す男女共同参画社会の実現に寄与することを目的としています。この広報紙は会員および一般のみなさまに WENET の活動を知っていただくために発行しています。

目次

- ・ごあいさつ ひろしま WENET 会長 信政 ちえ子 ……1
- ・日本女性会議2007ひろしまをふりかえって ……2, 3
- ・ヒロシマ平和の灯のつどい(報告) ……4

「ご あ い さ つ」

ひろしまWENET会長

信政 ちえ子

広島市女性団体連絡会議（ひろしまWENET）の皆さんには、日頃から大変お世話様になり厚くお礼申し上げます。今年度は「日本女性会議2007ひろしま」の開催年として、昨年に続き開催日に向けての準備や当日の企画運営など、会員の皆さんには、様々な役割に心を配って頂いた年でした。実行委員会加入をはじめ協賛金のご協力、参加の努力とボランティアへのご協力重ねてお礼申し上げます。



日本女性会議2007ひろしまは、内容が豊富な大会であったと参加の方々から感想が届いているそうです。分科会は16のテーマで企画、全体会は2会場、一堂に会する交流会と2日間で延べ7000人の参加で大盛況の内に終了する事ができました。報告書の編集に来年3月まで気が抜けませんが、一安心といったところです。今中、川瀬両実行委員長のお名前でお礼状をWENETにいただきました。

日本女性会議までのWENETの活動は夏の「ヒロシマ平和の灯のつどい」にしばり、大会準備に集中しました。夏の「灯のつどい」には200人の参加で碑めぐりと平和の思いをろうそくの灯に託し歩いたことに「来年も参加する、誘って来る」などの反響が届いています。広島平和文化センター理事長 スティーブン・リーパーさんから「女性たちの情熱はすばらしい、世界の平和を築くのは女性の力」だと励まして下さいました。役員一同喜び来年の力となりました。

2月はDVセミナーを高校で開催します。来年度には、みなさんの要望をしっかりと入れた企画を組んでいきたいと思ひます。これからもご指導、ご協力、ご参加を宜しくお願い申し上げます。

日本女性会議2007ひろしまを ふりかえって

2007年10月19日・20日

広島国際会議場ほか

日本女性会議2007ひろしまにとりくむきっかけは、2002年の6月に開催したWENETの総会で、長年の懸案事項だった日本女性会議広島開催検討委員会の立ち上げを検討したことにあります。翌年に検討委員会を立ち上げ、学習を重ね、広島市に対し広島での開催を提案しました。その後WENETは2003年大津市、2004年松山市と日本女性会議に参加し、平和・教育・環境・男女共同参画等のテーマを研究し日本女性会議ひろしま開催の意義をまとめ、2004年10月に2006年開催地の下関市に申し入れを行うよう広島市に要請し、申し込んで頂きました。2004年11月4日に2007年開催市として正式に決定しました。

2005年1月準備委員会を発足、10月実行委員会設立総会開催以後総務部会、渉外部会、全体部会、分科会部会、広報記録部会にわかれ、今中巨・川瀬啓子両実行委員長のもとで「一人ひとり 響きあって いま そして未来へ」のテーマに実行委員が結集しました。そして、2007年10月19日・20日、延べ7000人の参加者を迎え開催しました。大会中は16分科会、2会場の全体会、物産展、展示、交流会に実行委員、ボランティアが大いに力を発揮しました。資金集めから、人材まで手作りの実行委員会でした。様々な工夫と協力が寄せられた大会となり、感謝と感動のうちに終了しました。



WENET会員のみなさんに質問してみました

「日本女性会議 2007 ひろしま」に関わってみて、良かったことはどんなことですか？

次回開催地「とやま」へのメッセージを

所属：2000 + 7 平和

日本女性会議ひろしま大会に関わったことで今まで全然面識のなかったたくさんの方達といろいろな出会いがあり、様々なことを学ぶ機会になったことがとてもよかったです。

大会中に予期せぬことが起こった時、すぐに対応出来る指令系統をきっちりしておくことが必要であり大切です。大会の成功をお祈りします。

所属：NPO 法人 ひろしま女性 NPO センター未来

「私たちは同じ船に乗っている」と気づき、大会前のある日、胸が熱くなりました。信頼しあえる皆さんとの出会いです。広島からパワーアップした女性たちがたくさん参加しますので、よろしくお願いします。

所属：アルコ・デ・ヒロシマ

ネットワークの広がりがあった。
男女共に参画できる場をたくさん設けて欲しい。

所属：e-子育てセンター

大会を成功させるために個々のパワーを結集できたこと。イザと言う時にこそ支えあえる関係は、信頼から築かれるのだと実感した。平和の実現と人権の尊重を根底に、パワーのあふれる大会になることを願っています。

所属：広島生協連

実行委員になって新しい知り合いがたくさんできたこと。担当した分科会で広島歴史を深く知ることができたこと。



<日本女性会議 2007 ひろしま 開催概要>

2007年10月19日(金)

会場: 広島国際会議場・
グランドプリンスホテル広島ほか
・12:30 ~ 受付
・13:30 ~ 16:30 分科会
・18:00 ~ 20:00 交流会
(グランドプリンスホテル広島)

2007年10月20日(土)

会場: 広島国際会議場 (フェニックスホール) 会場: 広島厚生年金会館(大ホール)
・8:30 ~ 受付
・9:00 ~ 9:35 開会セレモニー
・9:40 ~ 10:10 基調報告/坂東久美子さん
・10:10 ~ 12:10 シンポジウム/
「平和を創り出す若者たち」
・13:20 ~ 14:50 記念講演/池田香代子さん
・14:50 ~ 15:30 閉会セレモニー
・8:30 ~ 受付
・9:00 ~ 9:35 開会セレモニー
・9:40 ~ 12:10 シンポジウム/
「男女共同参画社会を超えて」
・13:20 ~ 13:50 基調報告/坂東久美子さん
・13:50 ~ 14:50 記念講演/吉行和子さん
・14:50 ~ 15:30 閉会セレモニー

所属: 女性会議 広島支部

広島で日本女性会議を開催し、特に「平和を発信したい」という女性の強い思いが、広島市を動かし、お金も無いなか、多くの女性が成功に向け関わりました。私はほとんどお手伝いは出来なかったけど、全国の女性の「今をかえたい」というパワーが結集されていたと思う。

一所懸命働いても、生活保護基準以下の賃金しかない「ワーキングプア」と呼ばれる人が増えています。特に若者、女性に貧困が増大しています。生存権すら補償できていない今の状況にメスを入れるような会議を期待します。

所属: 安芸コスモスゾントクラブ

準備段階から、多くの人々とかかわりが出来て、人々の多様性を実感出来た。若い人々の参加出来る場面を演出してほしい。

所属: 広島市地域女性団体連絡協議会

女性の強さ、団結力を持って行動した姿、どの場面もすばらしく「これからの女性の活動に希望がある」と思った。女性の力を信じたい。男女が共に仲良く活動できる社会が開けるために勉強してほしい。暴力の無い社会、信頼の出来る社会に向かって学んでいきたい。

所属: 広島市公立保育園退職園長の会

まだまだ男社会です。男性に理解をということも大切ですが、「女性自身が差別的言動を見つけよう」という事も大切であるということに気付かせていただきました。

「男女を問わず市民生活が生き生きと生きがいを見つけて生活できる社会」をどこかに取り組んでいただけたらと感じています。

所属: 広島市女性教育センター
女性団体・グループ連絡会

下見や打ち合わせで、何度か講師、ガイドの方たちにお会いでき、その分詳しく学ぶことができました。役得大なりです。参加者も協力的でありがたかったです。

富山というと、女性史で学んだ米騒動の女たちを思い起こします。御当地らしい大会を期待します。

所属: アルコ・デ・ヒロシマ

DVに関する分科会に参加させていただきました。あらためて「人と人とが、互いに尊重しあえる社会」を作っていくことが大切であると感じました。

「ひろしまWENET」の今までの取り組みを紹介するチラシ(過去開催したDVセミナーについて)を参加された方々に配布し、啓発をさせていただきました。

2日間の行事は、内容の濃い、大変有意義なものでした。

所属: 広島市女性教育センター女性団体・グループ連絡会

私は中区コースを歩きました。13時30分広島駅を出発、浅野家の別邸の庭園「縮景園」で説明を聞き、濃いみどりの樹々からオゾンをもらい、次に「世界平和記念聖堂」へ。原爆犠牲者のみ霊に祈り、厳かな静寂に心が洗われ清らかなり次の「胡神社」「本通り」「旧日本銀行跡」へと歩きました。最後の楽しみである見延典子さんの講演「頼山陽の母・梅颯に学ぶ生き方」を聞きました。建物の関係でマイクが反響して少し聞きとりにくい所もありましたが、先生の飾りけない人柄と話しのおもしろさに、時間があっというまに過ぎました。そして「頼山陽記念館」を見学して終了です。皆さん歩きながら事前に配られた地図で場所を確認しながら、カメラ撮影をしながら、熱心に説明を聞きながら、横断歩道をせきたてられながら渡りと短い時間を有効に過ごされたのではないのでしょうか。私も軽い汗をかきながら心身共に爽やかな一日でした。

第9回 ヒロシマ平和の灯のつどい

2007年7月31日開催 於：広島市平和記念公園

「ヒロシマ平和の灯のつどい」
に参加して
学習部長 浅海恵美子

毎年7月31日の夕方、ろうそくに火をともし鎮魂と平和への思いを心で受けとめていただくために、今年9回目を、ひろしまWENETの主催で無事執り行うことができました。私は今回、司会進行を務め多くの方々（約200人）の参加協力をいただき、とてもありがたいと思いました。これも今ま



撮影：山本 宏樹



撮影：山田 英雄

で、ずっと続けてこられた先輩の方々のおかげだと思います。私は、今回初めて参加してみて、今まで自分が、被爆者の方々に対してどこか他人事のように思っていたことに改めて、気づかされ、これからはもっと被爆者の方々に感謝して、平和活動に関してもっと多くの人達が、それぞれ一人でも身近な事で出来ること、今自分に出来ることをはじめようと思います。特にセミパラチンスク留学生のアイジャ・エセンジャンさんの「ザマナイ」というカザフスタンの鎮魂歌はとても幻想的でした。また、来賓のあいさつで広島平和文化センター理事長のスティーブン・リーパーさんのスピーチで「これからは特に女性のパワーをもっと信じてがんばって下さい」とのメッセージをいただきとても勇気づけられました。

今回参加ご協力いただきました方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。

平成19年度 広島市女性団体連絡会議 幹事

会長	信政 ちえ子（広島市女性教育センター女性団体・グループ連絡会）
副会長	小畠 知恵子（安芸コスモスゾンタクラブ）
副会長	新見 多美子（広島市地域女性団体連絡協議会）
書記	山本 洋子（（社）広島県看護協会）
書記	有地 美奈子（（社）日本助産師会広島県支部広島市助産師会）
会計	藤永 雅子（広島市未来を考える女性の会）
会計	貴田 月美（女性会議広島支部）
監事	進藤 功子（（財）広島市母子寡婦福祉連合会）
監事	中嶋 典子（特定非営利活動法人ひろしま女性NPOセンター未来）

第24号 2007年12月31日

発行者 広島市女性団体連絡会議(広島市市民局人権啓発部 男女共同参画室気付)責任者 信政ちえ子